

議会だより



10 / 19実施 議会報告会（11ページへ掲載）

12 月 定例会

議案審議内容	2
一般質問	3～6
委員会レポート	7～10
議会活動	11
議会の動き、請願・陳情方法、3月定例会の予定等	12

補正予算の10議案など可決！

12月定例会

30年第6回12月定例会は、12月4日から6日までの3日間の会期で行われました。
町長から、報告事項2件、承認事項1件、30年度補正予算10件、規約の変更1件、条例改正3件が提出され、それぞれ承認・可決しました。

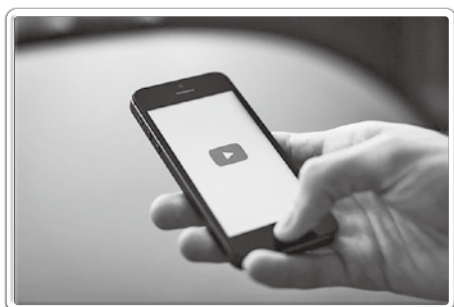
12月定例会の議案審議結果

報告第9号	専決処分した事項の報告の件（物損事故に係る損害賠償についての和解の件）	－
報告第10号	専決処分した事項の報告の件（公用車事故に係る損害賠償についての和解の件）	－
承認第8号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（30年度一般会計補正予算）（第5号）	全 員 承 認
議案第57号	30年度一般会計補正予算（第6号）	全員賛成可決
議案第58号	30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第59号	30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第60号	30年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第61号	30年度水道事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第62号	北部上北広域事務組合規約の変更	全員賛成可決
議案第63号	30年度一般会計補正予算（第7号）	全員賛成可決
議案第64号	30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第65号	30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第66号	30年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
議案第67号	30年度水道事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第68号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
議案第69号	特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
議案第70号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決

30年度 補正予算

	補 正 額		総 額
〈 一 般 会 計 〉（第5号）	231万円	〔学校給食共同調理場水漏れ工事費の増等〕	⇒ 64億8,531万円
（第6号）	4,269万円	〔燃料費高騰による燃料費・光熱水費等の増〕	⇒ 65億2,800万円
（第7号）	600万円		⇒ 65億3,400万円※
〈 特 別 会 計 〉			
国民健康保険事業（第2号）	1,112万円	〔高額療養費の増等〕	⇒ 17億8,261万円
（第3号）	18万円		⇒ 17億8,279万円※
後期高齢者医療（第2号）	415万円	〔後期高齢者医療広域連合納付金の増等〕	⇒ 1億6,659万円
（第3号）	10万円		⇒ 1億6,669万円※
介護保険事業（第3号）	△5,389万円	〔施設介護サービス給付費等の減等〕	⇒ 17億6,165万円
（第4号）	30万円		⇒ 17億6,195万円※
水道事業（第2号）	152万円	〔支出において営業費用152万円を増額し、同額を予備費から減額調整しました〕	⇒ 2億7,170万円
（第3号）	41万円	〔支出において営業費用41万円を増額し、同額を予備費から減額調整しました〕	⇒ 2億7,170万円※

※印は、いずれも青森県人事委員会勧告に準じた給与改定に伴う給与費の増



大湊敏行氏から、「議会の会議の録画（録音）及びSNS配信に関する陳情書」が提出され、審議の結果『不採択』となりました。またこのことについては、現在建設に向けて進められている役場新庁舎議場に録画（録音）機器等の整備をすることとして、配信の範囲や運用方法、維持費、費用対効果等について、行政及び議会で協議がなされています。

陳 情

町政のここが聞きたい！

12月定例会では

3名

の議員から一般質問

次のページから、登壇順で掲載します。

4ページ 江渡 正樹 議員

問1 小中学校の冷房設置は？

問2 総合体育館は現体育館の場所に建設を！

5ページ 中谷 謙一 議員

問1 補助対象外の選手へ交付の検討を！

問2 公式SNSの活用方法は？

6ページ 赤垣 義憲 議員

問1 町民参加型まちづくりの周知を！

問2 中学生から出された要望は？

問3 SNSを活用した防災対策は？

問4 防災無線受信機設置への補助は？

問5 議会等のネット配信を！

問6 大事業等の見直しを！



一般質問

町の行政全般に関し、
執行者所見や疑義について
質問するものです。

質問する議員も、回答
する行政側も十分な時間
が必要なことから、事前
に質問内容を通告する通
告制が採用されています。
質問時間は1名に対し
質問答弁を含め60分以内
で行われます。

再質問からは一問一答
方式が採用されています。

また、一般質問など、

定例会の会議録は議会事
務局で閲覧が可能です。
閲覧希望の方は議会事務
局までお越しください。



えとまさ 江渡 正樹議員

問1 小中学校の冷房設置は？

問1

地方紙に「国の臨時交付金を活用した県内207小中学校冷房設置計画」が掲載されていた。当町の小中学校も含まれているか。

町長 31年度予算要求として保健室への冷房設備設置費を計上していますが、事業費が国庫補助下限の400万円を超えないことから臨時交付金の対象とならないため、含まれていません。

問2

次の9項目を理由に新総合体育館建設を一旦中止し、新庁舎建設後に財政や町債等返済状況を見極め、現体育館の場所に建設すべきでは。

①建設予定地は町中心部に比べ、積雪量が多いのでは。

町長 アメダスや役場との積雪量を比較するとともに、除排雪に万全を期したいと考えています。

②冬場の落雪の際、3方は壁、うち一方に二本木川があるため、避難となった際は2階へ逃げるしかないと考えるが。

町長 屋根は無落雪の陸屋根構造で計画し、笠木ヒーターや笠木の形状で落雪（雪庇）対策の検討を行っています。

問2 総合体育館は 現体育館の 場所に建設を！



また1階部分にも避難出入口を設置し、大型・小型除雪機械の配備も検討したいと考えています。

③建設予定地周辺は坂道で、冬場アイスバーンや圧雪で危険では。

町長 進入路の安全性や縦断勾配の緩和の検討をしたいと考えています。

④駐車スペースが足りないと思われるが。

町長 運動公園内駐車場で約300台、また他の駐車スペース等を仮設駐車場とすることで、駐車台数の確保は可能と考えています。

⑤大規模構造建築に精通している方や、除雪業務に携わっている方が建設検討委員会に入っていないのは恣意的では。

町長 基本構想策定のアドバイザーとして、建築に精通している有資格者と建設環境課の職員が入っています。

⑥国民スポーツ大会が終わると無用の長物になるのでは。

町長 現在開催できていない各種大会や、冬場のアリーナでの野球やサッカー等屋外競技の使用、高齢者等の健康増進への活用等が可能となりますので御理解願います。

⑦冷暖房で光熱費が増大するのでは。

町長 暖房は全館、冷房は事務室や会議室等のみの設置とし、寒冷地を考慮した熱源システムを検討しています。

⑧中学生の部活や高齢者が使用する際は送迎を必要とするのでは。

町長 スクールバスや町所有バスの活用等検討していきたいと考えています。

⑨身障者や高齢者体育大会の開催にはエレベーターが必須のため、設備費や維持管理費が増大するのは。

町長 特別なエレベーター等の設置に伴う設備費や維持管理費の増大は無いものと考えています。



問1 補助対象外の選手へ 交付の検討を！



なかや けんいち
中谷 謙一議員

問1

「小中学校大会派遣事業費補助金交付事業」の対象とならない競技選手にも交付を検討すべきでは。

町長 学校の部活動にとられず、27年度から補助対象を各種団体まで拡充し交付していますが、少年スポーツ振興のため補助基準の見直しを検討していきたいと考えています。

● 小中学校大会派遣事業費補助金交付事業

補助対象者

①町内の小・中学校 ②スポーツ少年団登録団体または社会教育・体育団体 ③①②に属する者を推薦または選抜により、東北大会以上の大会へ派遣する団体。

補助対象大会

①都道府県または文部科学省が主催・共催する郡大会以上の大会 ②日本オリンピック委員会・日本スポーツ協会に加盟する団体や、その下部組織が主催する公式大会（競技大会）で、県予選を経て出場する東北大会（全国大会の予選の大会）以上の大会等。

※詳しくは社会教育・スポーツ課へ

（TEL 64-2119）

問2

問2 公式SNS の活用方法は？

当町でも公式SNSの運用が始まったが、今後の情報発信等の活用は。

町長 町の魅力をPRするイベント・観光情報のほか、生活・災害情報など積極的に発信していきたいと考えています。

● SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。

インターネット上で社会的なつながりを作り出せるサービス。SNSに登録することで他の誰かとつながり、情報交換や会話、コミュニケーションを楽しむことができます。



代表的なSNSの比較 ※2018年10月末現在

名称	Facebook (フェイスブック)	Twitter (ツイッター)	Instagram (インスタグラム)	LINE (ライン)
ユーザー数内	2,800万人	4,500万人	2,000万人	7,600万人
特徴	・実名制のため信頼性が高い ・荒れにくい ・フォーマルな場	・リアルタイム性が高い ・高い拡散力・文字数の制限	・20～30代の女性ユーザーに圧倒的人気 ・写真や動画がメイン	・ユーザー数が豊富 ・オリジナルスタンプ作成



あかがき よしのり
赤垣 義憲議員

問 1 町民参加型まちづくりの周知を！

問 2 中学生から出された要望は？

問 1

町民参加型のまちづくりを進め、広報やフェイスブックで周知する考えは。

町長 当然実施したいと考えています。

問 2

10月2日に実施した「野辺地中学校生徒と語る会」で出された要望の紹介を。

町長 1点目は縄文くらうに関連する料理の開発やそれを活用したカフェを作ってはどうか、2点目は役場新庁舎に売店や休憩スペースを作ってはどうか、3点目は花火大会などのイベントの企画運営に対する話し合いに参加させてほしいといった内容でした。要望全てに応えることは難しいかもしれませんが、町の発展を願う熱意や愛着が感じられ、今後検討していきたいと考えています。

縄文くらう

縄文くらう

有戸鳥井平地区で出土し、国の重要文化財に指定された縄文時代後期の板状立脚土偶。二本足で立つ姿で、アニメ『アルプスの少女ハイジ』で有名なフレイズ「クララが立った」を意識した愛称として、全国266点の応募から命名。高さ32センチ。



問 3

SNSを活用した防災対策への取組みは。

町長 現在、防災行政無線や広報車、ホームページ、携帯電話にメール配信する緊急速報メールのほか、災害関連情報を多様なメディアで配信するシアライトを実施しています。今後は11月から運用したフェイスブックを活用し、災害情報や避難所開設情報等を発信したいと考えています。

問 4

近年の自然災害の多発を勘案し、防災行政無線戸別受信機設置費に係る負担金3万円への補助を行う考えは。

町長 本来6万円のため現在でも一部補助している状況ですが、今後更なる助成も検討していきたいと思っています。

問 5

議会定例会などのネット配信を検討しては。

町長 新庁舎の議場内には録音や録画をするシステムを整備することとしていますが、議会中継やウェブ配信等を実施するかについては、議会側が判断することと認識しています。

問 6

新総合体育館建設取止めや、役場新庁舎の建設費削減等によって、町民に対する行政サービスへ予算を充てることができると考えるが。

町長 現在の町立体育館は築40年を経過し、安全性が危惧されていることから新総合体育館建設はやむを得ないと考えています。また役場新庁舎は町民の皆様使いやすい施設とする機能を備えた上で、持ち出しを限りなく少なくして整備したいと考えています。

いずれにしても徹底した行財政改革等により生まれた効率的な財源を基にし、町民皆様の理解を得られるよう実施していきたいと考えています。

問 3 SNSを活用した防災対策は？
問 4 防災無線受信機設置費への補助は？
問 5 議会等のネット配信を！
問 6 大事業等の見直しを！



介護・福祉課

①障がい福祉サービス事業所の開設

- ・開設の目的 障がいを持つ人々が自立した社会生活を営むための支援に努め、地域福祉全体の向上に寄与する。
- ・開設場所 旧まかど保育所（字馬門97）
- ・開設日 30年11月1日
- ・事業内容 にんにく芯とり、皮むき等主に農作業
- ・定員数 20名程度

委員

『他町村から通所した場合、経費等は当町負担か。』

介護・福祉課

「当町の負担となります。ただし、当町から他町へ通所する場合は他町負担になります。」

②生活困窮者の葬祭費補助制度

- ・趣 旨 生活困窮により親族等の葬祭費を捻出できない方に対し町が最低限度の補助を行うことで、人道的・公衆衛生的な役割を果たす。
- ・補助率 葬祭に係る経費5分の4程度（上限15万円）
- ・対象経費 霊柩運送費、納棺代等

委員

『自死や住所不定の場合も対象か。』

介護・福祉課

「国の補助が別にあるので対象外です。」

防災安全課

③台風25号接近に伴う暴風被害

- ・発生日 10月7日
- ・人的被害 20代男性軽傷1件
- ・建物被害 一部損壊45件、全壊1件

②町総合防災訓練

10月6日（土）、役場・町立体育館・自治会集会所にて実施。消防・消防団のほか各自治会や自主防災組織等160名が参加。

委員

『当町の自主防災組織の数は。』

防災安全課

「現在8つの組織が結成されています。」

①北部上北協議会連合観閲式

7月8日（日）、雨天のため町立体育館にて実施。横浜町・六ヶ所村・当町の消防団員約410名が参加。

税務課

◆9月末現在の収納状況（前年度比較）

- ・個人町民税 2・32%の減。漁業・農業者の所得減や一括納付額が少なかったことが主な要因。
- ・固定資産税 1・99%の減。今後安定の見込。
- ・国民健康保険税 0・81%の減。例年ベース。

委員

『個人町民税の減少は、生産年齢人口の減少が影響しているのでは。』

税務課

「あると思いますが、漁業・農業者の所得の減がやはり大きいです。」

収納済額（現年課税分）の昨年度との比較 ※30年度は9月末現在 単位：千円

	30年度	29年度
個人町民税	263,501	284,221
固定資産税	437,231	392,287
国民健康保険税	139,733	146,325

自主防災組織

「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき結成する防災組織。行政の一部という消防団とは異なり、構成員はボランティア。自治会単位で作られることが多く、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、全国で結成が進んでいます。



あの日を
忘れない

総務常任委員会

10月26日

財政課

◆30年度入札結果（9月末現在）

・入札件数45件、落札件数36件、その他9件（予定価格に達しなかった、辞退等による入札会の未実施）

委員

『設計委託等に町外業者が多く見受けられる理由は。』

財政課

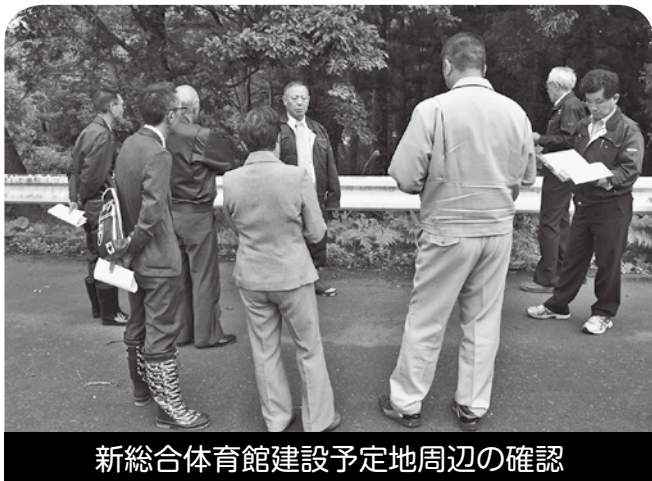
「鋼構造物に関する資格等が加味されたことによりです。」

建設産業保健衛生常任委員会 10月3日

蟹田地区・有戸地区のかかぶ農家の激励を兼ねた視察を実施しました。その後、新総合体育館建設予定地に移動し、現在進められている業務や今後の予定について行政側から説明を受け、周辺状況の確認を行いました。



こかぶの選別作業



新総合体育館建設予定地周辺の確認

建設産業保健衛生常任委員会 10月12日・11月2日

■10月12日

新総合体育館建設の参考とすることを目的に、『三沢市国際交流スポーツセンター』を視察しました。

この施設は現体育館の著しい老朽化や、各種競技のルール改正への未対応な状況の解消を目的に建設されたもので、メイン・サブアリーナのほか、ダンスやヨガに利用できる多目的運動室やトレーニング室、1周200mの2階ランニングコースなどが設けられており、子どもから大人まで幅広い年齢層に利用されていました。



2,080㎡のメインアリーナ



2階ランニングコースのスタート地点

■11月2日

江渡委員長より一身上の都合として、建設産業保健衛生常任委員会委員長の辞任届が提出されました。これを受け同委員会を開催、各委員からの意見を聴取した後、多数決により辞任を承認しました。

以上のことから11月14日付で新たに建設産業保健衛生常任委員会委員長に中谷謙一氏を、同委員会副委員長に蛸名猛氏を選任しました。

建設産業保健衛生常任委員会

11月14日

建設環境課

①30年度除雪事業

- ・実施期間 11月中旬から翌年3月31日まで
- ・除雪作業基準 概ね5〜10cmに達したら出動。交通に支障を及ぼすと判断した場合は基準以下でも出動。

②町営住宅ガス風呂釜改修

- ・実施箇所 駅前団地B棟・前平団地、いずれも16基

農林水産課

◆30年度事業進捗状況

①馬門地区農地整備事業

- ・施工数量 243m(全長2900mうち1682m完成済み)
- ・工期 11月7日完了

②雑吉沢地区町有林間伐業務

- ・施工数量 7.05ha
- ・工期 31年1月31日まで

③柴崎地区健康レクリエーション施設中継ポンプユニット改修工事

- ・施工数量 ポンプ一式撤去・取付
- ・工期 11月7日完了

④水産供給基盤機能保全事業

- ・施工数量 東防波堤(25・42m)
- ・工期 マイナス2m防波堤(35m)

⑤水産生産基盤整備事業

- ・施工数量 西護岸(7m)、北護岸(25m)
- ・工期 31年3月25日まで

委員

『マイナス2m防波堤とは。』

農林水産課

「水深が干潮時平均で2mうつり(ひく)びく。」



水道課

◆30年度事業進捗状況

①大月平地区配水管布設替工事

- ・工事概要 民地埋設の配水管29・7mを布設替
- ・工期 7月13日完了

②量水器取替工事

- ・工事概要 町内を7工区とし、1工区約140個の量水器取替
- ・工期 8月10日完了

委員

『量水器は定期交換が義務付けされているのか。』

水道課

地域戦略課

①30年度事業経過報告

これまでの主な実施事業	
事業名(実施月)	実績
烏帽子山開き(6月)	参加者 97人
烏帽子山納め(10月)	入山者 373人
レンタサイクル事業(4〜11月)	貸出件数 111件
みちのく丸船内見学会(7〜11月)	見学者数 2,045人
のへじ祇園まつり(8月)	入込者数 45,150人
まちなかにぎわい商工祭(9月)	入込者数 1,638人
産業創出応援事業費補助金交付事業(11月1日現在)	相談件数 2件
空き店舗・空き家活用事業補助金交付事業(11月1日現在)	交付決定 1件
今後の主な実施予定事業	
事業名(予定月)	内容
商工事業活性化支援セミナー(12月)	情報発信の手法
まかど温泉スキー場開き(12月)	
ドリンクラリー(2月)	

②各種まつりへの要望に対する回答

- ・春まつり期間中の露店の常設とゴミ箱の増設を。

↓催し日以外は入込者数が見込めないため常設は難しい、ゴミ箱は分類別に設置する。

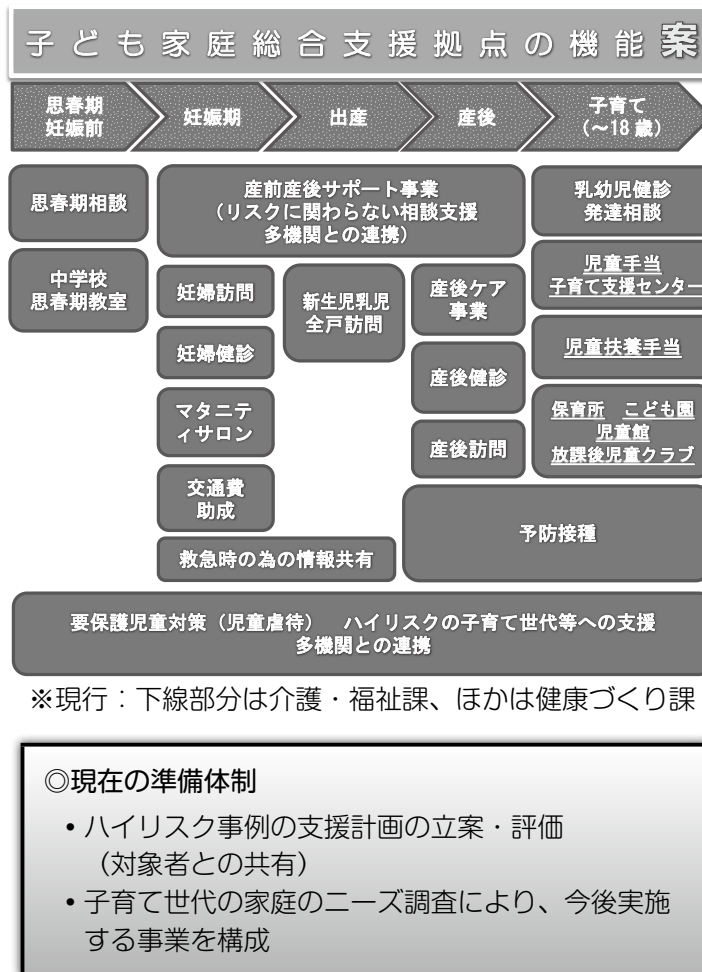
- ・祇園まつりの海上渡御に参加する子どもたちへの救命胴衣の整備を。
- ↓31年度に80着程度整備する予定で予算要求する。



健康づくり課

◆子どもや子育て世代への支援の方向

32年度を目標に、子育て全般を一体的に支援する拠点を『健康づくり課』に整備し、子どもや子育て世代への支援対策の充実を目指す。



原子力エネルギー対策特別委員会

11月30日

東京電力ホールディングス(株) 東通原子力発電所建設予定地を視察しました。この施設は23年3月から建設見合わせ中で、現在は設備の維持管理や安全品質を確保するための作業を実施しているとの説明を受けました。これを受け岡山委員長から、建設に問題のないよう徹底した地質調査と、新規制基準に対応した安全設計のもと進めていただきたいとの要望が述べられました。

全員協議会 10月17日

1、建設に係る予定財源

国民スポーツ大会に合わせて建設することで、『社会資本整備総合交付金』を優先的に受けることができる。地方債(過疎債)も活用し、少ない負担で建設が可能。

大型スポーツ用品などの備品の購入は、「スポーツ振興くじ助成金(toto)」の対象となる。
※社会資本整備総合交付金…建設費の約50%が国から交付。運動公園(都市公園)内に建設することが条件。

地方債(過疎債)…返済する金額の約70%に国から交付税算入がある。

↑
ここがPoint!

2、災害時の中核的避難施設

現在屋内避難所として指定されている9施設(3小学校・中学校・中央公民館等)や、地区集会所で収容不可能の場合の避難所とするほか、大規模災害時の長期避難用施設とする。避難者の移動手段は、近隣地区は徒歩や自家用車等で、収容不可能となった地区集会所からは町有バス等で避難。

3、避難所とする特性

- ①運動公園内に建設されるため、長期避難に対応した駐車場が確保可能。
- ②陸上競技場等に仮設住宅などの建設が可能。
- ③ヘリコプターの離発着の場所が確保できるため、物資等の輸送が可能。

(参考) 年度ごとの建設スケジュール

	29	30	31	32	33	34
基本計画策定						
測量業務						
立木調査業務						
建設設計業務						
地質調査業務						
造成工事						
工事監理業務						
建築工事(電気・設備含む)						
建設工事						

新総合体育館建設について、次のとおり行政側から説明を受けました、概要をお知らせします。

10月19日、①役場新庁舎建設 ②新総合体育館建設についてを案件として、中央公民館で「議会報告会」を実施しました。

町民からの意見や要望、議員各々の意見を掲載します。

①役場新庁舎建設について

(町民A) 消費税や備品購入費を入れた概算事業費を町民にしっかり伝えてほしい。

(町民B) 新町に建設だと2階建てという話だった、約束が違つ。

(町民C) 設計も場所も決まっているのだから新町、2階建てという話をして遅い。とにかく地元の業者を使って地元が潤うようにしてほしい。



議 会 報 告 会

(議員A) 地元業者で対応可能な工事はできる限り地元業者に発注をと行政側には伝えるが、最終判断や決定権はあくまで行政側。

②新総合体育館建設について

(町民D) 各種大会などで毎年700人程度の関係者が来ると話しているが、対応可能な宿泊施設がない。建設費が有利なことは分かるが、とにかく維持費を考えないと、除雪などの町民サービスに影響が出る。

(町民E) 財政難で原子力立地給付金を集めて新庁舎を建てようとしている時に、新総合体育館建設よりもっと大事なことがあるのでは。

(議員B) 再三に渡って建設反対の表明をしてきた。これから何十年先人口が8千人を切っていく。絶対見直すべき事業だ。

(議員C) 国スポ(2023年、国体から国民スポーツ大会に改称)開催に併せて建設することで頂ける交付金がないと、今後自前で建設することは不可能。着手すべき。

(議員D) 着手するか否かは議員の意見が半々ぐらいに分かれている。皆さんから頂いたご意見を議員それぞれが考え、今後行政側に反映させていくよう努めたい。

郡町村議会・研修会



11月7日、上北郡町村議会議長会議員研修会が六ヶ所村スワンで行われ、八戸市立市民病院院長兼臨床研修センター所長、今明秀氏の講演を拝聴しました。今氏は野辺地病院にも勤務していたことがあり、日本最大規模のER(救命専門外来)を立ち上げ、TBS系 情熱大陸等に出演。

本県において、従来の救急車での救命救急では限界があるとし、ドクターヘリ(東北最多出動)やドクターカー(日本最多出動)を開始。世界で類を見ない空陸同時出場の「サンダーバード作戦」のスタイルを確立。これらを基にし、『21世紀の救急医療は医師の現場出動』を世界中で実現すべく、引き続き尽力していくと述べられました。

商工会との懇談会



12月7日、「町の持続的発展に向けて」を題材に『商工会との懇談会』が開催されました。

懇談では、当町における産業構造や経済循環の状況、減少傾向にある商工業者の推移などの説明後、後継者不足による廃業対策や、人口減少に伴う活性化対策などを行うにあたり、行政や議会による幅広い支援が必要不可欠であると、商工会側から意見が述べられました。これに対し議会から、「人材育成や雇用対策、基盤産業の育成などを町全体で考えていく必要がある。人口減少という現実やビジネスモデルの変化などを踏まえ、行政や商工会、議会が連携していくことで、個別の企業が自力で解決できない課題の解消や、商工業の発展、ひいては町全体の活性化に繋げていくべく、議会として最善を尽くしていきたい」との回答がなされました。

